

実施日：令和 8 年 10 月 7 日(水曜日)

対象児：5 歳児 12 名

回答数：12 名(100%)

調査方法：聞き取り

【提供量】

	豚肉ねぎ塩炒め	くにつこ野菜素揚げ甘みそだれ(里芋・なす)		
1 人分提供量	50 g	・ 里芋 25g	・ なす 20g	
おかわり提供量	100 g	・ 里芋 125g	・ なす 100g	
おかわり残食量	0 g	・ 里芋 0g	・ なす 0g	
平均おかわり量 (1 人分)	10 g	・ 里芋 12g	・ なす 10g	

【5 歳児への聞き取り調査結果】

	はい		いいえ	
① また食べたいと思った	8 人	67%	4 人	33%
② おかわりした	9 人	75%	3 人	25%
③ 美味しいと思った野菜	長ねぎ 5 人 42%	里芋 6 人 50%	なす 1 人 8%	

【子どもたちの声】

- ・ 里芋は触った時はザラザラ、チクチクしていたが、食べたらトロトロしていてぬるっとして美味しかった。皮ごと食べたのが初めてだったけど、触った時とは違うザラザラ感で美味しかった。甘くて美味しかった。
- ・ なすはトロトロしていて皮も美味しかった。
- ・ 長ねぎはシャキシャキして甘くて美味しかった。調理する前の匂いはいい匂いではなかったけど、食べた時には美味しい味と匂いだった。苦味も感じた。

【朝どれの野菜に触れた時の子供の声】

- ・ 里芋は硬くて、ザラザラしていて土の匂いもあったが、なすは柔らかくピカピカしていた。
- ・ 長ねぎは上の緑色の部分に穴が開いていたから、指を入れてみたら、ぬるぬるしていて、匂いをかいだらくさかった。

【考察】

- ・ 里芋は皮付きで素揚げにしたが、食べる前からいい匂いがするとわくわくしていた。実際に食べると、ねっとりしていて、普段の里芋より美味しいと話していた。また、以前は里芋が苦手だったけど、今日の里芋はとても美味しいと話していたので、新鮮だからこそその味だと感じた。
- ・ 子ども達の中には里芋をじゃが芋と間違える子もいて、しばらく「じゃが芋美味しい」と言っていたので、そのつど、「じゃが芋にも似てるけど、里芋ね。食べると味も違うよね」と話すと「ねっとりしてる」と食感の違いはしっかりと分かっていて、食べ終わる頃には「里芋美味しいね」と間違えずに話していた。
- ・ 今回は野菜に触れた時の気付きにとっても良い声があったことを嬉しく思った。例えば長ねぎの穴の中のぬるっとした感触の発見は素晴らしいと思った。また、「この美味しい野菜が食べられるのは、作ってくれている人がいるからなんだよ、その人は誰か分かるかな?」と問うと、「農家のおじさん」と答えてくれた子がいたことに同席していた保育士も驚くくらいであった。なので「では、その美味しい野菜を作ってくれている農家のおじさんに、ありがとうという気持ちを込めながら、これからも給食をいただきます」と話しました。